

# 「日本語教師の資格の在り方について(報告)」概要

**課題** : 在留外国人の増加・多様化が進み、優れた日本語教師の養成と確保が課題となっている。

**目的** : 日本語教師のキャリアパスの一環として、資格制度を整えることにより優れた日本語教師を養成・確保して我が国の日本語教育の質を向上させる。

**審議経過** : 平成30年度(2018年)から文化審議会国語分科会に日本語教育小委員会を設置し審議を開始し、国民への意見募集を経て、令和2年(2020年)3月に報告を取りまとめた。

## 公認日本語教師の資格の仕組みイメージ

日本語教師を目指す者 (年齢、国籍、母語を資格取得要件としない)

### 資格取得要件

【要件】 日本語教育能力を判定する試験 合格

【要件】 教育実習の履修・修了

【要件】 学士以上の学位

公認日本語教師

法務省が告示をもって定める日本語教育機関の教員要件を満たす者  
**(経過措置)**

- ・ 大学等で日本語教師養成課程を履修(26単位以上)し修了した者
- ・ 学士+文化庁届出受理研修を受講し修了した者
- ・ 日本語教育能力検定試験に合格した者
- ・ 旧基準を満たし、告示校の教員の職にある者 …

にほんご

